

1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
大神山公園		（指定管理者名）公益財団法人 東京都公園協会 （団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。			
指定期間					
R5.4.1 ～ R10.3.31（5年間）					
2 施設名					
大神山公園					
3 管理運営の概要					
<p>・毎年秋に行っていたビオ・アース映画祭を村が主催するサマーフェスティバルの一環として、8月に開催した。開催日を2日間に増やし、スクリーンを今までの1基に加え新たにサブスクリーンを設置して上映本数を倍増した。過去のアンケートの回答が多かった、島に映画館がないので映画を選んで見てみたいという島民の要望に選択肢を増やすことで応えた。開催時にはビオ・アース映画祭が都立公園サポーター基金で運営されていることを説明したところ、次回も開催して欲しいとたくさんの方々が募金に協力してくれた。</p> <p>・マイクロプラスチック回収・普及啓発活動は、今年度新たにZ世代を中心とした団体NAMIMATIと連携し、葛西臨海公園でも同時に回収活動をできるよう調整し、若者が参加しなくなるイベントとして広報活動に力を入れて実施した。さらに回収だけでなく、仕分けからアップサイクルまでを行い、マイクロプラスチックで作ったコマを子どもたちに配布してコマバトル大会を開催した。環境局と連携したTOKYO海ごみゼロアクションでは、5日間で171人もの参加者が集まり、多種多様な団体と連携した本活動の参加者は、今年度合計で600人となり、昨年度の1.5倍の協力を得ることができた。</p>					
4 管理状況（維持管理）					
<p>・利用頻度が少ない園地を直管作業で開拓し、「大神山café」開催場所として新たに整備した。島内でも数少ない、海の目の前でくつろぎ、休憩できる空間を創出した。整備後は島内事業者によるキッチンカーを誘致し、小笠原産の材料などを使用した飲食物の提供を開始。ビーチクリーンやワークショップ開催時の会場として島内外の人たちの交流の場としても活用した。今後はイベント会場として活用していく。</p> <p>・漂着ごみの回収と並行してウミガメの産卵場所の整備も実施し、産卵上陸した親亀が迷走しない様に海岸と園地の境界部にサンゴを積み上げて迷走防止堤を設置した。</p> <p>・倒木事故を受け、点検樹木の選定基準を園路沿いの被害想定の大い樹木を優先するなどの検討を重ね、点検木の再選定・見直しを図った。新たに選定した点検木のリストは小笠原支庁に提出し維持管理の情報を共有した。</p> <p>・雨上がりにぬかるむ園路にタコノキをチップ化した「タコの葉チップ」を敷設したことにより、防虫抗菌作用のあるタコの葉が吸水後蒸散することで、ぬかるみの乾燥が早まり園路の環境が大幅に改善された。</p> <p>・クジラモニュメントが老朽化により錆が目立っていたため、島内の塗装業者に補修を委託しつつ、島民のボランティアと公園職員が協働して塗装作業を実施した。パークビューが綺麗になり来園者に人気のスポットとして活用された。</p>					
5 利用者アンケート結果					
実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート					
施設名	照合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
大神山公園	4.7	4.6	4.3	4.8	4.6
6 入園者数の状況（単位：人）					
施設名	当該年度	分析			
大神山公園	458,650	新たな関係機関と連携して環境問題に取り組み、SNSや島外での広報を活用して小笠原の魅力を広く発信した。			
合計	458,650				



大神山公園

所在地：東京都小笠原村父島字東町 / 開園面積：15.31ha

世界自然遺産小笠原の玄関口 Trigger Park 大神山公園



島民と共に育てる大神山café

NEW!



利用頻度の少ない園地を整備して有効活用

今まで利用機会の少なかった園地を直営作業で開拓。「大神山café」として島内でも数少ない、海の見目の前で休憩できる場所として**新たに整備**。

海を見ながらくつろげる空間を新たに創出

整備後は島内事業者による**キッチンカーを誘致**し、小笠原産の材料などを使用した飲食物の提供を開始。SNSなどで新たなスペースができたことを周知。

before



利用機会が少なかった園地が…

after



海が見えるようになった

Caféと一緒に
ワークショップも
開催!

綺麗に整備された海の見えるスポットに!

島内の情報発信媒体を活用した周知

小笠原観光局のウェブマガジン「小笠原マガジン」のワーケーションができる施設特集にエントリー。**大神山caféはWi-Fi環境が整い、海を見ながら仕事のできる場所として紹介され、認知度・活用頻度ともに大幅に上昇。**



島内外の人たちの交流の場としても活用



島民の声に応えたトイレ one up!

NEW!



トイレの壁を再生し新たに活用!

before



after



地域みんなが使えるメッセージボードとして活用

ビジターセンター外トイレの壁を再塗装してチョークで書ける**メッセージボード**を設置。アンケートで多かった「**子どもが見やすい掲示板**」という要望に応え、**子どもや車椅子の人でも見やすい低い位置**に設置。塗装と設置作業は、**ボランティア**と共に実施。

掲示板やギャラリーとして、**災害時には伝言板としての活用**もできることをイベントで周知予定。



要望に応えたイベント開催で顧客満足度向上!

5 女性専用トイレ
設置あり

10 多言語対応
案内あり

都市公園制度制定 150周年事業 更にパワーアップした「ビオ・アース映画祭」の開催

毎年秋に行っていた「ビオ・アース映画祭」を、村主催のサマーフェスティバルの一環として8月に開催。**開催日を2日間に増やし、さらにサブスクリーンを追加して上映本数を倍増**した。過去のアンケートの回答で多かった、「島に映画館がないので**映画を選んで見てみたい!**」という島民の要望にも**選択肢を増やすこと**で**応えた**。開催時には「ビオ・アース映画祭」が都立公園サポーター基金で運営されていることを説明し、募金への協力を呼び掛けたところ、子どもから大人まで**次回も開催して欲しい!**と**多くの方から協力が**得られた。



メインスクリーンでは大ヒットした娯楽作品を上映 サブスクリーンでは人間愛をテーマにした作品を上映

一歩前進! マイクロプラスチック回収活動 NEW!

回収だけでなくアップサイクルで海ごみ生まれ変わる!

今年度はZ世代を中心とした団体NAMIMATIと**新規に連携**し、葛西臨海公園と同時開催できるよう調整し、**若者が参加したくなるイベント**として**広報活動に力を入れて実施**。さらに、回収だけでなく仕分けから**アップサイクル**までを行い、マイクロプラスチックで作ったコマを子どもたちに配布してコマバトル大会を同時開催。環境局と連携した**TOKYO海ごみゼロアクション**では5日間で**171人**もの参加者が集まった。**多種多様な団体と連携した今年度は合計600人の参加があり、昨年度の1.5倍!**。漂着ごみの回収と並行して**ウミガメの産卵場所の整備も実施**。産卵上陸した親亀が園内を迷走しない様に、海岸と園地の境界部にサンゴを積み上げて堤を設置した。



スマホで見やすい縦長ポスター

ゴミがコマになるの?



島の子どもたちもたくさん参加



アップサイクルしたコマで遊ぶ様子



迷走防止堤は自然素材で製作



若い力で海を綺麗に!

参加人数 **600** 人 (昨年度比**150%**)



環境局と連携した回収イベント

収支状況

3 収支(単位:千円)				
項目	令和5年度 金額	令和4年度 金額	令和3年度 金額	公園別支出額
収入計	66,788	64,811	64,113	大神山公園：66,364
内 指定管理料	66,788	64,811	64,113	
内 利用料金	0	0	0	
支出計	66,364	64,154	62,566	
収支差	424	657	1,547	